

2023 年 11 月 27 日

## 2023 年度「自立援助ホーム支援助成」事業実施報告書

団体名 一般社団法人ラシーヌ

ホーム名 さくらの木

代表者・役職名 氏名 端 将一郎

## ▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

## 1. 申請事業の名称

入居者の移動支援に必要な車両購入事業

## 2. 自立援助ホームの概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。会員数など。180文字程度まで)

2019年福井で開催された「親と子のリレーションシップほくりく2019」の分科会をきっかけに2019年末に弁護士が中心となり、福井県内の弁護士・児童福祉に関する有識者・教育関係者らと共に、当法人の準備会である「福井に子どもシェルターをつくる会」が発足され2022年1月に法人が設立された。2022年8月福井県で初めてとなる子どもシェルターを併設した形で自立援助ホームさくらの木を開所した。

## 3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

入居者が地域で生活をしていくにあたり必要な移動支援をスタッフが自家用車を使用して移動を支援している状況だった。入居者を同乗させている際に万が一のことがあった時のためにもスタッフが安心して入居者の移動支援を行うことができるようホームの公用車の購入が必要であると考えた。

## 4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

自立援助ホームスタッフが入居者の送迎や就労支援、就学支援、通院同行、買い物などの移動支援を安心安全に行うためだけでなく、アウトリーチの際の外出やホームの必要用品の買い出しなどのためにも車両の購入を行う。

## 5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

入居者への通院同行、就労支援、就学支援、買い物、相談者のところに出向き相談に応じる際に公用車をほぼ毎日活用できている。スタッフも安心して、これらの支援を行うことができるようになった。

## 6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

公用車の購入により安心して入居者への支援を行うことができるようになった。今後も困難な課題を抱える若者への支援、入居者への支援に活用していきたい。

7. 参考資料: プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等の現物またはコピー、活動状況の写真などを、“必ず”、別途、ご提供ください。

